



ゆのおっ子だより

令和6年度 湯尾小学校長だより
2024.9.19 NO. 24

— ふくし学習第2弾！（アイマスク体験 4年生） —



18日（水）の1・2時間目に、「アイマスク体験」を行いました。講師には、光道園から山口さん・吉田さんに来ていただきました。山口さんは、「歩行訓練士」という資格を持っておられ、視覚障害者の方に白杖を使って歩くための指導をしておられるそうです。（この資格を持っている方は、福井県には8人しかいないそうです。）



最初に、山口さんから「目が見えないこと」についての話を聞きました。目が見えない見え方には、色々あるのだということが分かりました。

次に、アイマスク体験をしました。2人1組で、アイマスクをする人と案内をする人になってやりました。1度目は、何も教えてもらわずに自分たちで考えて案内してみました。すると、手を引っ張って案内する子や「前、前。後ろ、後ろ。もう少し右。・・・」と声だけで案内する子などがいました。アイマスクをした人の中には、他の人にぶつかったり、方向が分からなくなって戸惑ってしまった子もできました。この後、「手引き」（上手な案内の仕方）を教えてもらい、再度、案内をしました。今度は、上手に声かけしながら案内をすることができました。



次に、「白杖」を使って歩く体験をしました。子どもたちは、白杖を通じて歩く場所がどんな状態なのかを知ることができるということが分かり、「白杖」の大切さを知ることができました。



最後に、私たちはどんなことに気をつけていったら良いかということをお話しました。また、視覚障害者の方を町で見かけたときに、「何かお手伝いすることはありますか？」と声をかけると良いということも教えていただきました。この言葉は、障害を持たれた方にだけかける言葉ではなく、全ての人にかけられる素敵な言葉だと思いました。みんなが、普段から使っていて、学校中に町中にあふれると良いなと思いました。

